

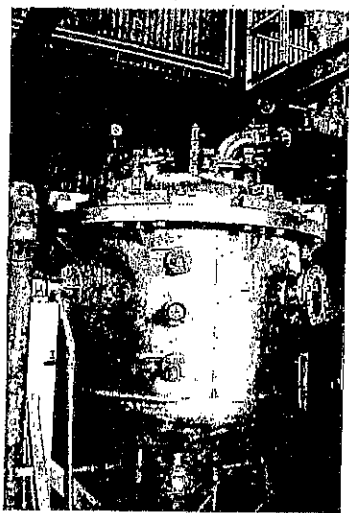
# 廃棄うどん 燃料で再生

## 高松のメーカー開発 残渣も肥料に

### 産学官が「循環プロジェクト」

廃棄されるうどんから代替燃料のバイオエタノールを製造するプロジェクトに取り組み「うどんまるごと循環コンソーシアム」が立ち上がり、13日、高松市内で第1回総会を開いた。うどん店で廃棄されるうどんから製造したバイオエタノールを、うどん店が燃料として循環利用する仕組みの構築を目指すもので、「うどん県」ならではの環境保全活動が始まる。

同コンソーシアムは、環シエクトは「うどんまるごとNPOや学識経験者、製と循環プロジェクト」と名乗業者ら14人で構成。プロ付けた。



廃棄うどんを発酵させ、バイオエタノールを製造する装置

計画では、県内のうどん店などで廃棄されたうどんを回収。高松市内の産業機械メーカーが開発した専用のプラントで、バイオエタノールとメタンガスを製造し、回収したうどん店でバイオ燃料として活用する。製造過程で出る残渣もうどんの原料となる小麦を栽培する際の肥料として使う。

今後は、回収や燃料製造の仕組みを整え、早ければ2月末に燃料生成を開始。肥料の商品化を含め、2013年3月末までに循環システムを確立させる。

この日の第1回総会では「採算性は上向くのか」「燃料と引き換えに、うどん店から料金をもらっては」などの意見があった。今後は

技術向上や普及促進などのシエクトの仕組みを具体化専門部会を立ち上げ、プロする。

類型	24年 1月 14日	資料No.	
掲載紙	朝日 日経 四国 徳島 愛媛 高知	その他( )	